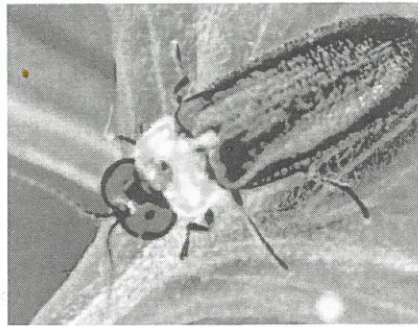


# 折爪岳の宝「ヒメボタル」

## ～光のコミュニケーション～

# 楽しく美しい まちづくり通信…⑥1

「ホ、ホ、ホタル来い、そっちの水はにがいぞ、こっちの水はあまいぞ、ホ、ホ、ホタル来い、小さなちようちんさげて来い、星の数ほど飛んで来い、ホ、ホ、ホタル来い」と、口ずさみながらほうきを持って、光を追いかけた子供の頃を思い出します。



ヒメボタル

### ヒメボタルの生活

ホタルの中では雌が大きいのが普通ですが、ヒメボタルは例外で雌が小さい。また、このホタルの幼虫は、小さな陸貝を食べながら、陸上で一生を過ごします。(ゲンジ、ヘイケボタルの幼虫は水の中にすみ、カワニナなどの水中の貝を食べます。)餌となる陸貝は、湿った所を好み、枯

包み込むようにそっと両手で捕って、指の間からのぞき、光るホタルを見たときの感動は忘れられません。

昔からホタルは、人里に近い池や川、田んぼや用水路などにすんでいます。

ホタルが美しい光を放って飛ぶ光景は、夏という季節を感じさせる風物詩の一つでした。

しかし、五〇年代以降ホタルのすみ環境が次々に失われ、特に、ゲンジボタルが生息していた馬淵川流域では、農業、生活雑排水による水質悪化などの影響によりその姿はほとんど見られなくなりました。

現在国内で、三〇数種類のホタルが確認されています。

折爪岳には、ヘイケボタルより小さな森のホタル「ヒメボタル」が確認されています。

葉や木の実を食べてすんでいます。折爪岳の生息地は木や笹が生え、日差しを遮り、ホタルや陸貝にとって良い環境となっています。また、雄は飛ぶことができず、雌は内側の羽が退化し飛ぶことはできません。そのため、今すんでいる場所がすみにくくなったからといって、すみ場所を簡単に移すことはできません。



7月にはホタルが乱舞するブナ林

「ル」が生息しています。山頂付近のブナ林を中心に中腹から山頂にかけて分布し、毎年七月五日頃から約一カ月間発生します。

その生息数は北東北最大級といわれ、七月中旬の夜には、ヒメボタルの乱舞を見ることができま

最近、全国的にホタルによる

まちおこしやイベントが各地で開催され、ホタルのすめる環境づくりが進められています。一方では自然生息地が減っています。

自然の遺産、折爪岳の「宝」ヒメボタルを今のまま後世に残したいものです。

ヒメボタルの発生状況などについては、折爪山の家(☎23-7599) 管理人坂本さんにお問い合わせください。

## こよみ



5月11日～6月10日

### ★6月★

- 11日(木) 市民生活相談(市役所市民相談室)、入梅
- 12日(金) 映画とお話の会(市立図書館)
- 13日(土)
- 14日(日)
- 15日(月)
- 16日(火) 4カ月児健康診査・離乳食セミナー・中期(市保健センター)
- 17日(水)
- 18日(木) 2歳児歯科健康診査(市保健センター)、法律相談(市役所市民相談室)
- 19日(金)
- 20日(土)
- 21日(日) 夏至(二四節気)、父の日
- 22日(月) 行政相談(市役所市民相談室)
- 23日(火) 1歳6カ月児健康診査・離乳食セミナー・後期・親子ブラッシング教室(市保健センター)、沖繩慰霊の日
- 24日(水) 育児相談(市保健センター)
- 25日(木) 税務巡回相談(市役所市民相談室)
- 26日(金) プレマ教室(市保健センター)

折爪岳山開き(28日まで)